

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>地域の方を呼んでの食事などの催し、近くの病院への通院、地元の商店への買い物などを通じた、近隣の方との交流。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>指導者の職員は、法人の理念である信頼・愛情・誠意を基本に指導にあたり、職員もまたそれに沿った介護を心がけています。</p>	<p>定期的な会議・反省会を行って行くようにしたいです。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>玄関に、理念に基づくグループホームの目標を掲示しています。</p>	<p>地域の方が、いつも見学や訪問に来られる、近所の子供たちが遊びに来られる、開放された施設になるようにしたいです。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>日々の散歩で近隣の方と挨拶をしたり、グループホームの催しに参加していただいたりしています。グループホームに立ち寄っていただくこともあります。</p>	<p>催しごとを告知するなどし、参加していただく方や、立ち寄っていただく方が増えるようにしていきたいです。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の幼稚園・小中学校と相互に訪問したり運動会に参加したり、交流を続けています。また、地域のお祭りに出かけたりもしています。</p>	<p>交流のあった高校が廃校となり、交流先が減ってしまいました。今の交流を維持するとともに、新しい交流先を探していきます。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	年に数回程度ですが、ご利用者様と一緒に事業所近くの道路の清掃活動を行います。		引き続き、清掃活動などを通じて地域の一員としての認識を得ていくようにします。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を職員全体で検討することができていません。		時間の制限などで、できていませんが、何とかして全職員で取り組む体制を作るようにしていきます。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている	施設関係者やご家族様と会議や懇親会を開いたりしていますが、特にご家族様への報告、意見交換は十分とは言えません。		行事の開催にご家族様も参加して頂き、ボランティアとしてのご家族様を交えての交流を持ちたいです。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	特に取り組んでいません。		今後、協議していくようにします。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度をご利用の方で支援させていただいた方がおられました。既に退園され、今も活用されている方がおられますがご家族様にご支援いただいています。		制度について改めて勉強する機会を持つようにしていきたいと思います。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修で虐待について学ぶ機会を持ち、どういったことが虐待に当たるのかを管理者、主任等で話し合い、そういったことがないように気をつけ、また指導しています。		全ての職員がそういったことをもっと学べるような研修を開いていきたいと思っています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>全てのご家族様に十分な説明は行えていません。</p>	<p>契約の際に、契約契約書・重要事項説明書の内容について説明する時間をしっかりと取るようにします。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>和泉市より毎月、介護相談員が訪問してくれており、直接ご利用者様とお話されて、お話された不満や苦情、介護相談員が気が付かれた問題がある点については指導していただいています。</p>	<p>日常的に、ご利用者様の意見、不満、苦情を察知するように努めていますが、検討する機会を持つようにしたいと思います。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>健康状態に変化があったときはお電話で報告、相談を行い、日々の活動については新聞の発行、ご家族様に個別のお便りの発送や園内に写真の掲示を行っています。</p>	<p>金銭管理、異動などについて、しっかりと報告を行って行くようにします。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族様のご訪問時にお話を伺ったり、サービス計画書を確認していただく際に、ご意見を伺うようにしています。また、苦情受付窓口を重要事項説明書、玄関に明示しています。</p>	<p>直接、対話する機会を増やし、意見、苦情を伝えていただきやすい環境、雰囲気を作るように努めていきます。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>機会を特別に設けるといったことはしていません。日常的に細かい動きや対応について提案があり、変更して行くという事はあります。</p>	<p>職員に意見、提案ができるきる雰囲気、環境作りを進めて行きます。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員は互いに休みの計画などを伝え合い、早出・日勤・遅出・夜勤のシフトをローテーションしています。</p>	<p>今後も、現体制が維持できるように努めて行きます。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット毎の職員を基本的に固定し、異動の際も若干名の異動でご利用様が戸惑わないようにしています。また、ユニット間で協同、交流し全ての職員がユニットに関わらず、なじみの関係にあるようにしています。</p>		<p>訳あって離職した職員にも、機会があれば再び働いてもらえるように相談しています。</p>
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者をグループホーム協議会の研修に参加させているほか、法人内での研修、外部講師を招いての研修に管理者、他の職員も参加し、内容を参加できていない職員に伝えています。</p>		<p>以前あったグループホーム内での勉強会などを再開して行けるようにして行きます。</p>
<p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大阪グループホーム協議会への参加をしています。</p>		<p>他のグループホームと職員の相互研修を行う計画を相談中です。</p>
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>業務内容が単調なものになりがちなので、行事の担当をもってもらったり、新しい行事を取り入れたりすることで変化をつけています。</p>		<p>仕事に追われず、ゆっくりとご利用様と一緒に過ごす時間をもてるように業務内容を見直して行くように努めます。</p>
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>法人全体で職員の資格取得について推奨し、取得の際にはお祝いをしています。また、人事考課制度を取り入れ、向上に役立てるよう努めています。</p>		<p>考課制度の充実、実効性を高めるように取り組んで行きます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入園の時、入園当初の不安定な状態の時には、ご家族様に電話で相談しています。また、ご本人様からも過去の話、生い立ちなどの聞き取りをしています。</p>	<p>業務に入らない職員がゆっくりとお話を聞く機会を作っています。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入園のお申し込みに来られた方や、お電話での相談に丁寧にお答えするようにしています。入園に至る場面でのお話を聞かせていただいたり、面会に来園されたときにお聞きしています。</p>	<p>ご本人様とご家族様を交えての話し合いを作って行きたい。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>お聞きした状態で、入園できるまでデイサービスやショートステイをお勧めしたり、老健をお勧めしたりしています。</p>	<p>ご家族様の思いを来園時にお聞きして、介護者からの援助もお願いしています。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>現状で、入園の段階でそれまでの居所と行き来をするといったことはしておりませんが、訪問面接の際に、ご本人に何のために訪問に来たか、面接者は誰なのかといったことを説明し、ご本人の理解が得られるようにしています。また、ケースによっては、ご家族様に訪問を頻繁にさせていただき、家に帰るなどの支援をしていただいています。</p>	<p>こういった支援が適切か、ご家族様等と相談します。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご利用者様ができることは、ご自分でしていただく、ただし、放置するのではなくご様子を見て声をかけたり、していただいたことにはお礼を言い、共同生活を送るようにしています。</p>	<p>重度化に伴い、できることが減ってきていますが、ご本人ができる事をもっと把握し、職員が手を出しすぎないようにすること、役割を持つただけるようにして行きます。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	新聞と個人向けのお写真、お便りの発送し、状況を少しでもお伝えするように取り組みをはじめています。また、運営推進会議に合わせてお食事会を開き、ご家族様との交流を通じて、ご支援をお願いしています。		準備時間が取れずに十分なお知らせや交流などが効果的にできていない点を改善していきたいです。外出計画の中でご家族様も共に過ごしていただける取り組み（花見など）をしたいです。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人様とご家族様との関係にも様々おありですが、こちらの対応に不公平な差をつけてしまわないように気をつけながら、個々のご関係に対応するようにしています。		ご関係の把握と理解に努め、職員が共通認識を持てるように努めます。来園されたときにはお茶をお出ししてゆっくりとご本人様と過ごして頂いています。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご訪問いただいたり、お手紙を出される補助をしたり、年賀状を出していただいたりしています。ご利用中に徐々に分かってきた関係なども把握するようにしています。		全員に対して十分とは言えませんので、ご関係の把握・維持に努めたいと思います。住んでいた場所にお連れするといったことがしてみたいです。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日々のご様子から関係の把握に努めています。状況に応じてテーブルや座席の配置を変更したり、職員の対応を検討したりしています。		仲の悪い方を把握して言動に注意し、職員が仲介に入るようにしています。レクリエーションの中でご利用者様が接触されるようにし、孤立されている方の居室に他の方達に話しに行ってください。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今まで退園後もお付き合いがあるといったケースはありませんが、何かの折に触れ、電話でご連絡をいただいたり、転居先でお顔を見せていただいたりといったことはあります。		退園された方にも年賀状などで関係を続けたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>外泊希望の方には気を遣わずに帰っていただくように配慮し、散歩や外出、買い物での参加の意思、欲しい物を確認して購入しています。</p>	<p>意向を伝えられない方を、もっと考えて接して行きたいです。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入園時の面接にて把握に努めています。</p>	<p>ご本人様よりの聞き取りにより把握できた事もありました。ご家族様にお聞きする機会も持って行きたいです。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>できるだけ心身状況の把握し、お部屋で過ごされる時間、睡眠、お昼寝や役割などを、その方に応じて介護を行うようにしています。</p>	<p>個別に有する能力の把握に努めたい。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族様とはご訪問時やお電話で、また、ご本人様の普段のお話やご様子から希望をを反映するように話し合い計画を作成しています。</p>	<p>ご本人様とご家族様の意見をもっと反映できるような、聞き取りなどを行えるようにして行きたいです。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ミーティングやご家族様の訪問時に、色々なことを相談し、また、本人にも希望を聞き取り、毎日の支援、生活に即反映するようにしています。</p>	<p>変化が生じた時の対応を素早くしていきたい。介護計画にも反映するようにしていきたいです。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録に気がついたことや対応を記録し、特に気になることや伝える必要のあるところにはラインを入れるなどし、ミーティングを通してユニット間でも情報を共有しています。		記録の時間が取り辛いところを改善して行きたい。介護計画にも反映するようにしていきます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			一人ひとりの生活形態を尊重する支援を実施するようにします。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	社会福祉協議会、市民生活課と生活支援の相談、保育、幼稚園、小中学校との交流、ボランティアによる訪問等の支援をいただいています。		訪問されるだけの関係から、訪問してボランティアをずっとといった活動をしていきたいです。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の診療所、整骨院に協力していただき、ご利用いただく支援をしています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと連携し、生活保護受給者の入園、また入園後の支援をいただいています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ひかりの園診療所、提携歯科医院の訪問診療、精神科医の往診等の支援をお願いしています。ご家族様にも、かかりつけ医への通院等にご協力いただいています。		往診の支援が頂ける専門医を必要に応じて見つけられるようにしたいと思います(希望)。特に歯科医への通院ができればと考えています。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科医の往診をお願いしており、必要に応じて受診して頂けるように支援しています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ひかりの園診療所と連携し、日常の健康管理、医療面での相談を行い、健康を維持できるようにしています。		往診のしていただける医師と連携できればと考えています(希望)。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関の地域医療連携室に、受診の相談や入退院の情報交換をご支援して頂いています。また、グループホームとしては早期の退院にもできるだけ対応するよう努めています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	若干名の方について、ご家族様と終末期のあり方について相談させていただいています。また、緊急の場合は救急による対応を取らせていただくこともある点、重度化による退園後の対応の点についても説明をさせていただいています。		職員にもご本人様とご家族様の希望されている方針について周知しているケースがあります。これから、より理解と共有が必要と考えています。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期ケアについては、体制的に十分なケアを提供できないなど諸々の点から、基本的には行わないという方針です。ただし、現実としてご高齢化に伴い、起こりうることとしてある程度の相談は行っています。また、グループホームで居続けるのが困難な場合のサポートも行っています。		現実に介護度の上昇し、今までなかった移動、入浴や排泄介助の困難な面が起きてきていますが、介助具や職員の工夫で対応できています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>個人の誇りやプライバシーに関する言葉遣いについての認識を今後もミーティングなどを通じて深めていく必要を感じています。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>意思表示のできない方の意思を、どう理解して行くの話し合いをして行きたいです。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		<p>業務の都合というものが発生してしましますが、更に個別の対応、生活が送っていただけるように考えて行きます。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>化粧品や乳液の購入の援助をしています。ひな祭りなどの行事でお化粧品を取り入れています。今後また、お店を希望される方がおられた時には、支援をしていきます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付け、配膳下膳、食器洗いなどできる範囲で職員と一緒に行っていただいています。		刃物の扱いができる方などに調理をいくらかしていただいています。食事調理の大部分は厨房専門の職員が行っています。今後、調理をケアに取り入れる取り組みもしていきたいと思います。
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	その人の希望される飲み物や食べ物を食べていただけるように支援しています。可能な方には買い物にも出ていただき、ご自分で選んで買っていただくこともしています。		思いの伝えられない方の取り組み、買い物にお金を持っていない不安を訴えられることに対応して行くようにします。
56 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄記録をつけて、状態、パターンの把握に役立っています。		自分で最後までトイレに行ける生活をしていただきたいと思っています。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お一人ずつ、ゆづくりと入っていただくようにしています。週に3回の入浴となっています。夏場は入浴日以外にもシャワーだけでも使っていただくなどの工夫はしていますが、業務の都合上、また公平に入ってもらえるように、曜日や時間(13:30~16:00)は決めさせていただいています。		できるのであれば、夜間の入浴もしたいと考えていますが、なかなか実行は困難です。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お布団はグループホームでご用意していますが、枕や、お布団もご希望があったり、使っていたものがあればお持ちいただいています。		広さの制限などで難しいですが、ソファなどを増やし、居室以外でも気軽に横になれる生活を提供したいです。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物、掃除、食事、カーテンの開閉、植物のお世話、館内放送、掲示物の作成などの役割を持っていただいたり、新聞をお取りになったり、図書館の本を借りて読書されたり、散歩、刺し子などその方の嗜好にあった活動ができるように援助しています。		重度化に伴い、役割など見つけてもらうことが困難になりつつありますが、状態に合わせた新しい役割などを見つけていただくようにしていきます。また、参加できない方への対応も考えていきたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方が自己管理でお金を所持されています。		自己管理できない方への対応を考えたいです。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日、散歩に出るほか、植物のお世話、買い物の外出、職員が対応できるときにはドライブといった外出を頻繁に行っています。		外出の機会が限られるので、外出が困難な方にも平等に機会があるようにしていきたいです。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	周辺の施設や公園などに頻繁に外出を行っています。個別の外出もできることは行ったりしていますが、対応に差をつけることになるので、やや問題があると考えています。		できるだけ多くの方に個別に対応し、平等に機会が持てるようにして行きたいです。今より少し遠くへの外出や、一泊旅行などの実施ができればと思います。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の方がされています。		絵手紙のボランティアの支援を頂いて、年賀状、書中見舞いを書いて頂いています。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問していただけるように、時間の設定などはしていません。ご家族様に一年の行事の予定表をお知らせし、園内に告知ポスターを貼り、また、玄関にも予定表を用意して訪問された方にお知らせして、ご参加していただけるようお声を掛けています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っておりません。		色々な面で、制限のない生活を送っていただけるようにしていきたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	階段の降り口、エレベーター、玄関出入り口、居室の窓の開閉制限、など鍵をかける弊害はあるものの、身体に危険が及ぶ可能性が大きいと判断し、施錠しています。		安全面を確保できるようにして、1～2階で自由な行き来をし、生活範囲を広げて行きたいです。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間も定時巡回を行い安否確認をしています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物や針などの危険なものでも、職員の目の届く範囲で使っていただくなどしています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ご利用者さまについて、その方にはどんな注意が必要か情報をミーティングなどを通して共有し、危険がないように配慮しています。		個人のプライベートや持ち物と安全のバランスをどう保っていくのが課題です。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	一部の職員が訓練を受けていますが、全ての職員が訓練を受けることはできていません。救急時の対応の取り決めや、一般的な知識の伝達などで対応しています。		消防署などと連携し、訓練を受けるようにしていきます。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災(災害)発生時の対応の取り決め、緊急連絡網などの整備を行っています。近くの施設(特養ひかりの園)とも連携し災害時の対応をするようにしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		医療連携体制の実施を計画中です。
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		何のお薬か内容についても、できる範囲での理解に努めていますが、より一層の理解を職員が共通して認識できるようにしていきたいと思っています。服薬の困難な方に服用していただける良い方法を考えていきたい。
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		トイレにゆっくりと座っていただき、トイレの外で待つ、ご自分でトイレの訴えができるような介護をしていきたい。
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		歯磨きを拒否されるか方の支援を考えていきたいです。
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		糖分やカロリー面での問題にも対応を進めていきたいと考えています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外部からの訪問には手指消毒をしていただき、内部では外出後、うがいと手洗いをを行うようにしています。食事の前には職員、ご利用者様共に手洗いとアルコールで手指消毒を行っています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	日時を決めて定期的に冷蔵庫の整理、食器乾燥機の清掃、換気扇の清掃を行っています。生鮮食品(さしみ)などは当日配達してもらうなどして予防しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	いつでも清潔感があるように清掃を心がけ、植え込みやポットにさまざまな花木を植え、玄関内には花を飾ったり、写真やご利用者様の書かれた書などを張り出しています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく清潔な環境を維持するように日々の清掃を心がけています。季節の行事に合わせて装飾を変えて行き、季節感の演出をしています。		中庭の有効活用をして行きたいです。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングダイニングには、ベンチソファとテーブルを設置し、廊下の端々にもソファ、テーブルを設置して自由に使うてもらえるようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用の際には、新しい家具などをそろえるより、ご自身が使っておられた、使い慣れた家具などをお持ちいただくように説明しています。		危険があったり、壊してしまったり、異食があったり、ほとんど物を置くことができない方のお部屋を、落ちつける場所になるようにしたいと考えています(希望)。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は日常的に行い、温度設定も個室毎に本人の希望や気温に応じて変更しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー構造のフロアと、手すりの設置がされています。		歩行の不安定な方の訓練を行っており、歩行器を使うようにしました。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレを大きく表示したり、個室の入り口に表札やのれんをつけることで自室の区別がつくようにしています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭や廊下に植物を配置したり、園外にベンチ、椅子を設置、外での食事や喫茶を行っています。中庭で花や野菜を育てて収穫して頂いたりしています。		中庭や玄関の外をくつろぐ場所や運動できる場所に活用したいです。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

明るく清潔な環境があって、おいしい食事ができることを大事に思っています。

施設に閉じこもりにならないように、時間の余裕を見つけて、可能な限り外出に参加して頂けるように取り組んでいます。

ご利用者様のできることはやって頂き、介護者は見守るように努力していますが重度化がすみ、困難になってきています。

歩けるうちは歩いて頂く、しかし車椅子に乗ることでグループホームの生活が続けられるなら、それで出来るだけ長くグループホームに居て頂くようにしたいと考えています。

お手伝いをして頂いた時には「ありがとう」の言葉で感謝を伝えるように気をつけています。

ご利用者様同士の会話や助け合いが、常に見られるグループホームだと思っておりますし、そうありたいと思っています。